

2004年3月期

決算説明会



トヨタ自動車株式会社

2004年5月11日

将来予測・インサイダー取引について

本資料のうち、業績見通し等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づき算定しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等が見通しの数値と大きく異なる可能性があります。なお、上記の不確定性および変動可能性を有する要素としては、主に以下のようなものがあります。

- ✖ 主要市場における経済情勢および需要の変動
- ✖ 為替相場の変動（主に円 / 米ドル相場、円 / ユーロ相場）
- ✖ 原価低減や設備投資を計画通り実施する当社の能力
- ✖ 主要市場における貿易規制等各種規制
- ✖ 主要市場における政治情勢
- ✖ 適宜、新製品を開発し市場へ投入する当社の能力
- ✖ 当社が事業活動を行う上で生じる 当社の責めに帰すことのできない様々な障害

インサイダー取引に関するご注意：

企業から直接、未公開の重要事実の伝達を受けた投資家（第一次情報受領者）は、当該情報が「公表」される前に株式売買等を行うことが禁じられています（証券取引法166条）。同法施行令により、二以上の報道機関に対して企業が当該情報を公開してから12時間が経過した時点、または、証券取引所に通知しかつ内閣府令で定める電磁的方法（TDnetの適時開示情報閲覧サービスおよびED-NET公開WEBサイト）により掲載された時点を以って「公表」されたものとみなされます。

代表取締役副社長

荒 木 隆 司

Agenda

.連結決算の概況

.単独決算の概況

.次期の見通し

はじめに

今回の決算数値

米国基準に準じて作成（連結）

過去の数値も米国基準に置き換えて比較

単独決算は従来通り日本基準にて作成

前期の日米基準差

(億円)

前期(02/4-03/3)	売上高	税金等調整前 当期純利益
米国基準	155,015	12,266
日本基準	160,542	16,493
差	5,527	4,227
連結範囲	3,900	772
持分法利益の表示区分	-	820
代行返上益	-	2,116
有価証券の減損	-	568
その他	1,627	49

連結決算要約 過去最高益を達成

	当期 (03/4-04/3)	前期 (02/4-03/3)	増減	
	億円	億円	億円	%
売上高	* 172,947	155,015	17,932	11.6
営業利益	* 16,668	12,716	3,952	31.1
税金等調整前 当期純利益	* 17,657	12,266	5,391	44.0
当期純利益	* 11,620	7,509	4,111	54.8
為替レート	113円/ドル 133円/ユーロ	122円/ドル 121円/ユーロ	9円の円高 12円の円安	
	* 過去最高			

生産台数 : 全ての地域で前期超え

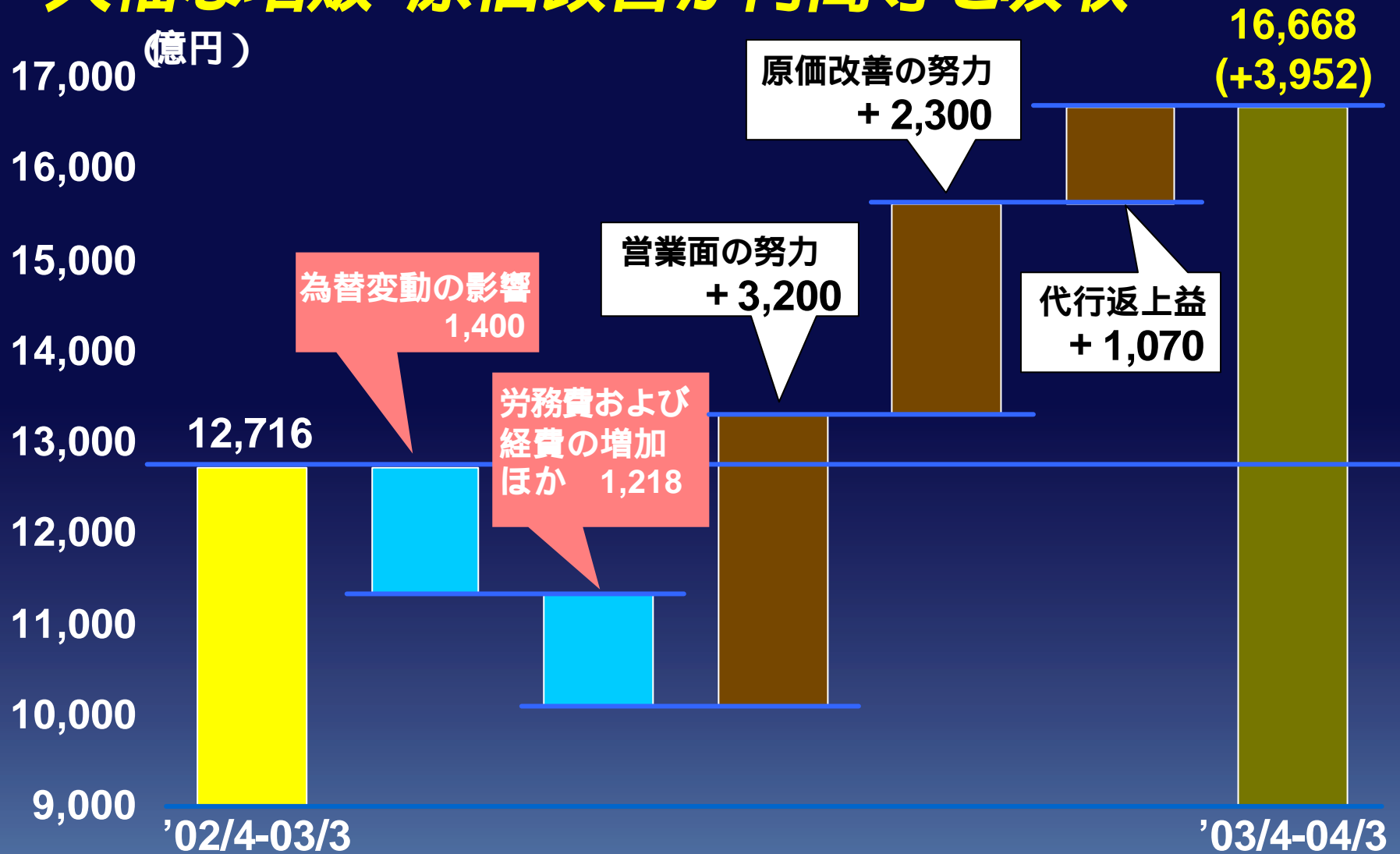


販売台数 : 全ての地域で前期超え



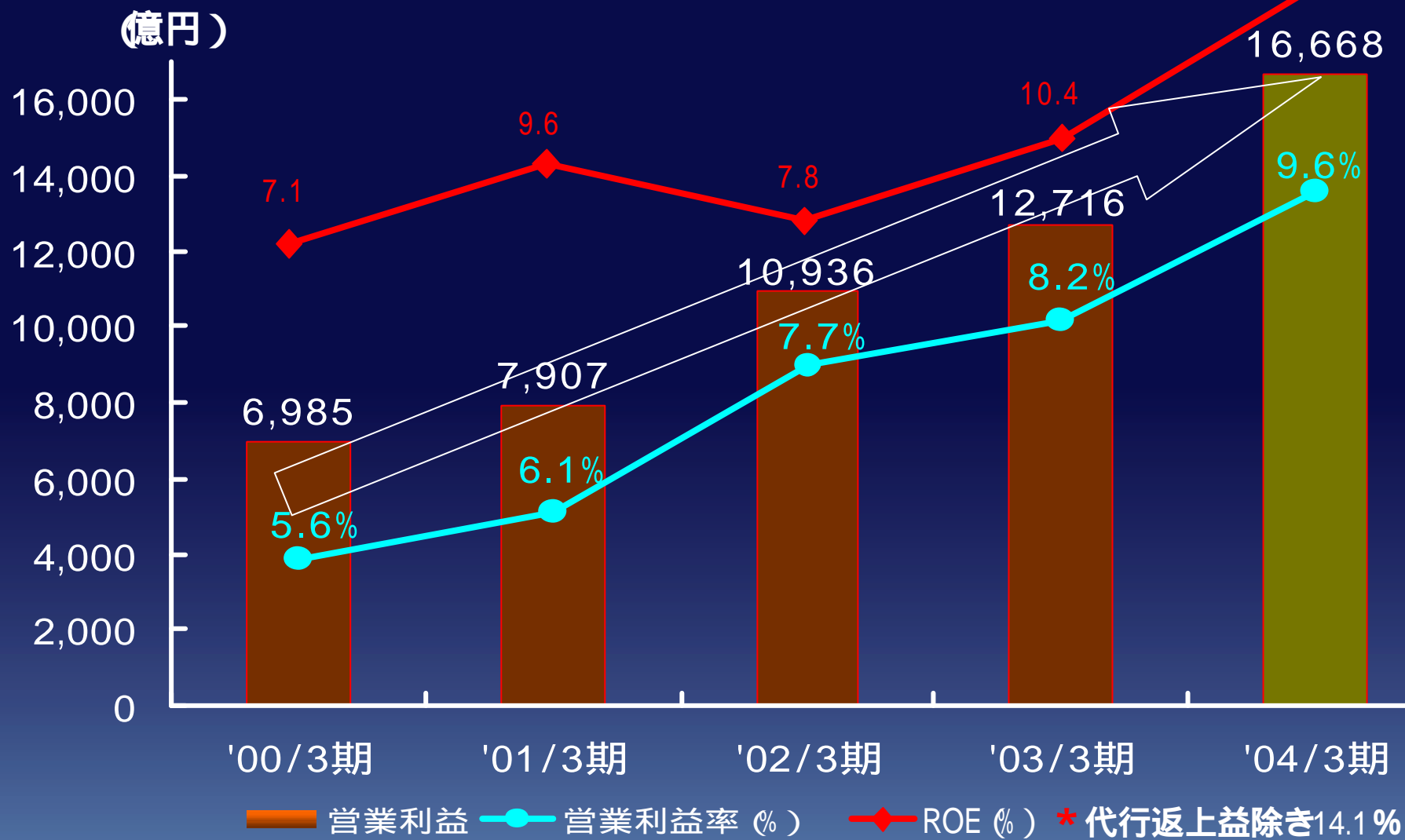
営業利益増減要因 : < +3,952億円 >

大幅な増販・原価改善が円高等を吸収



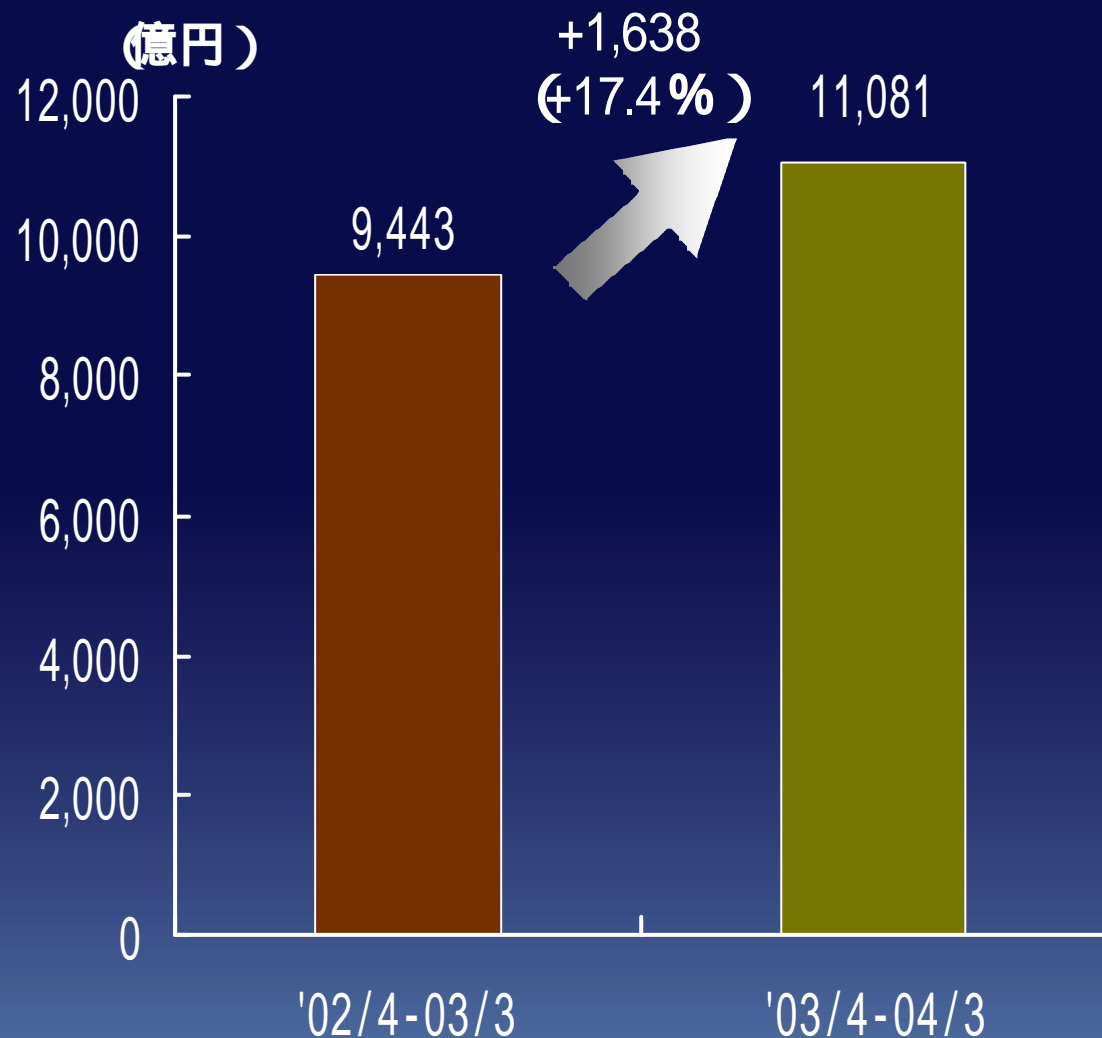
営業利益および営業利益率：

成長と効率の両立により大幅に上昇



所在地別営業利益 :日本

好調な国内生産・販売により、大幅な円高の影響を吸収



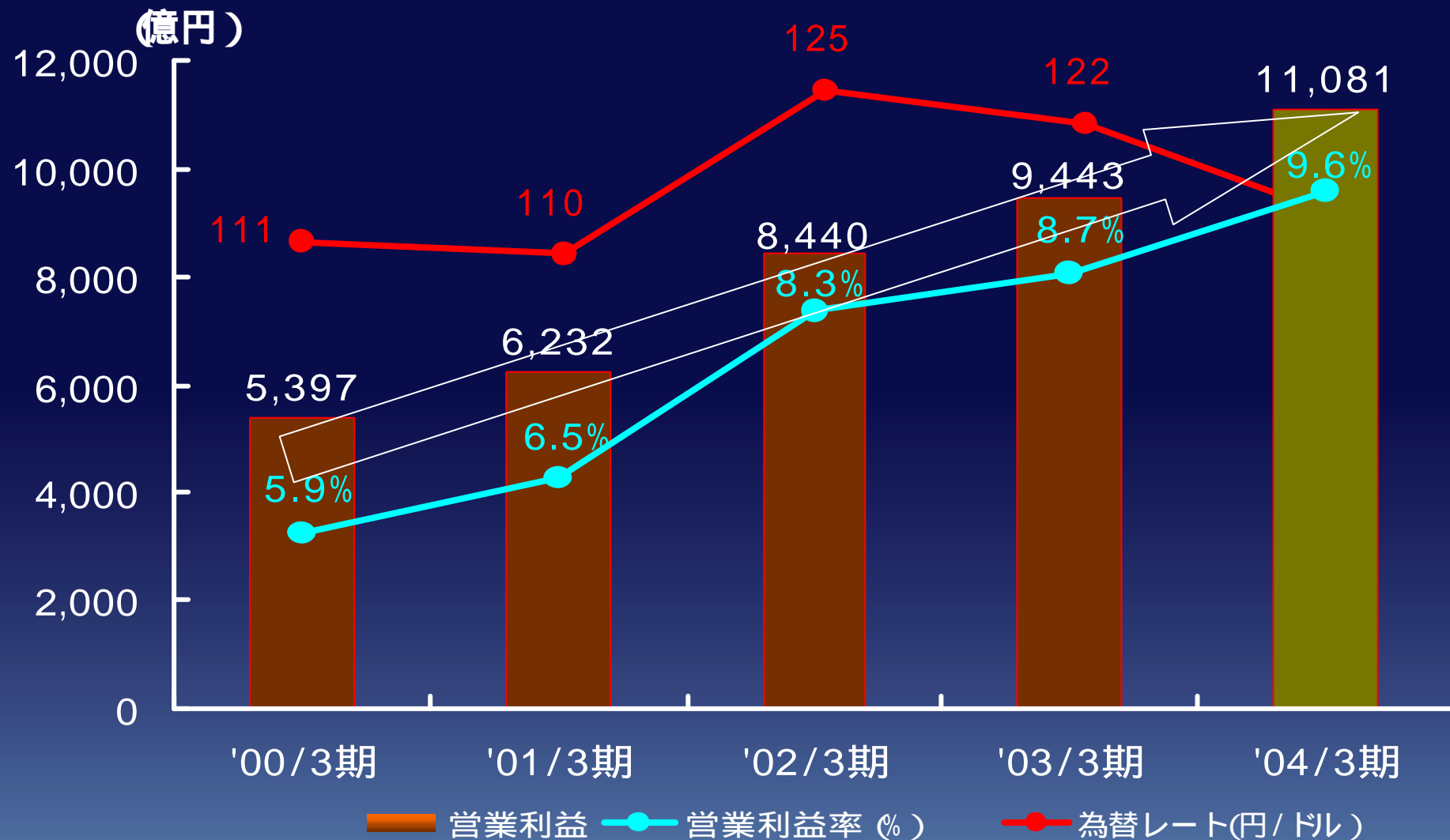
クラウン



ハイブリッドカー・プリウス

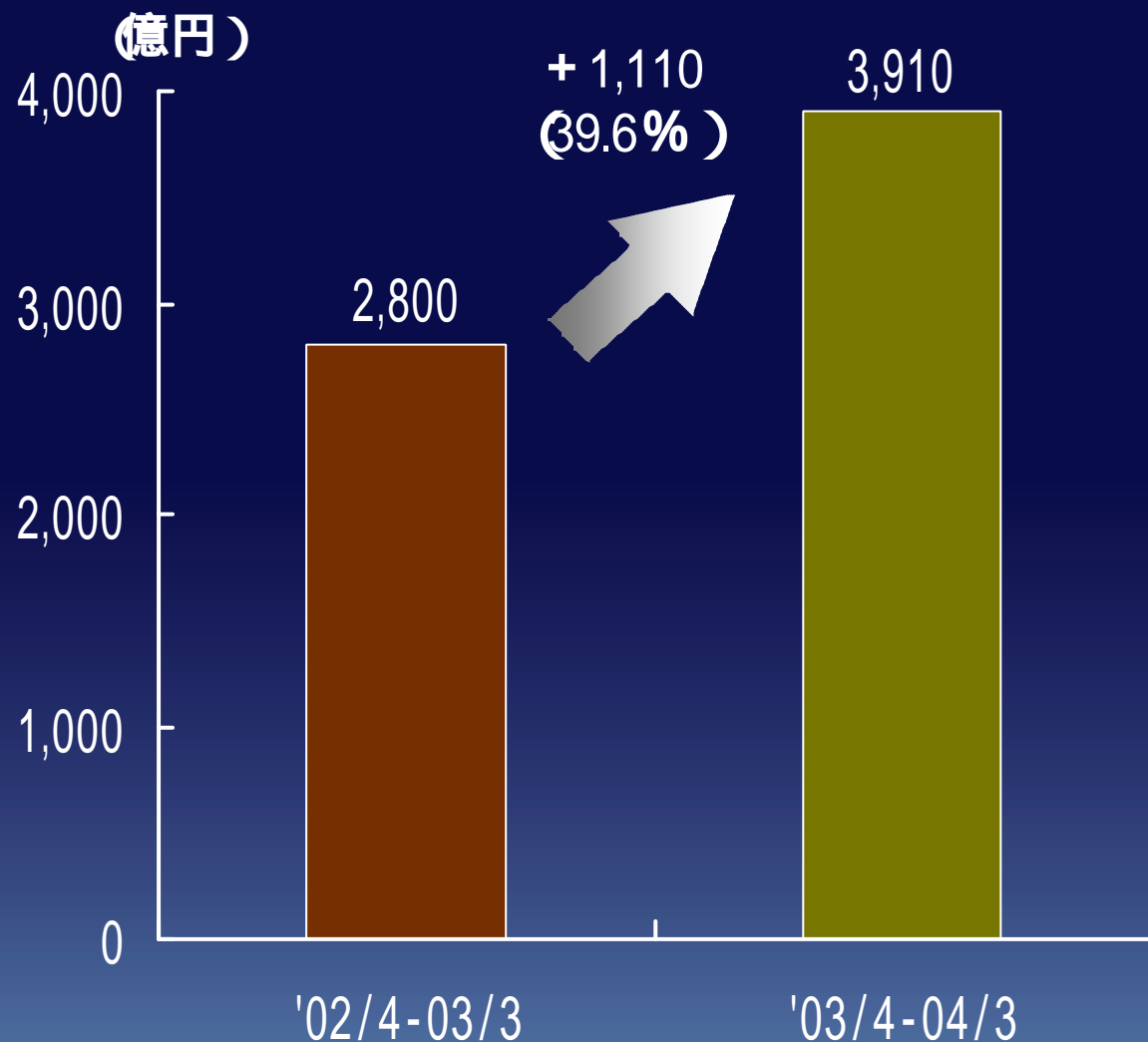
所在地別営業利益推移 :日本

連結での総合力により為替変動に関わらず収益性向上



所在地別営業利益 北米

シエナ、RX330等好調な販売により大幅な増益



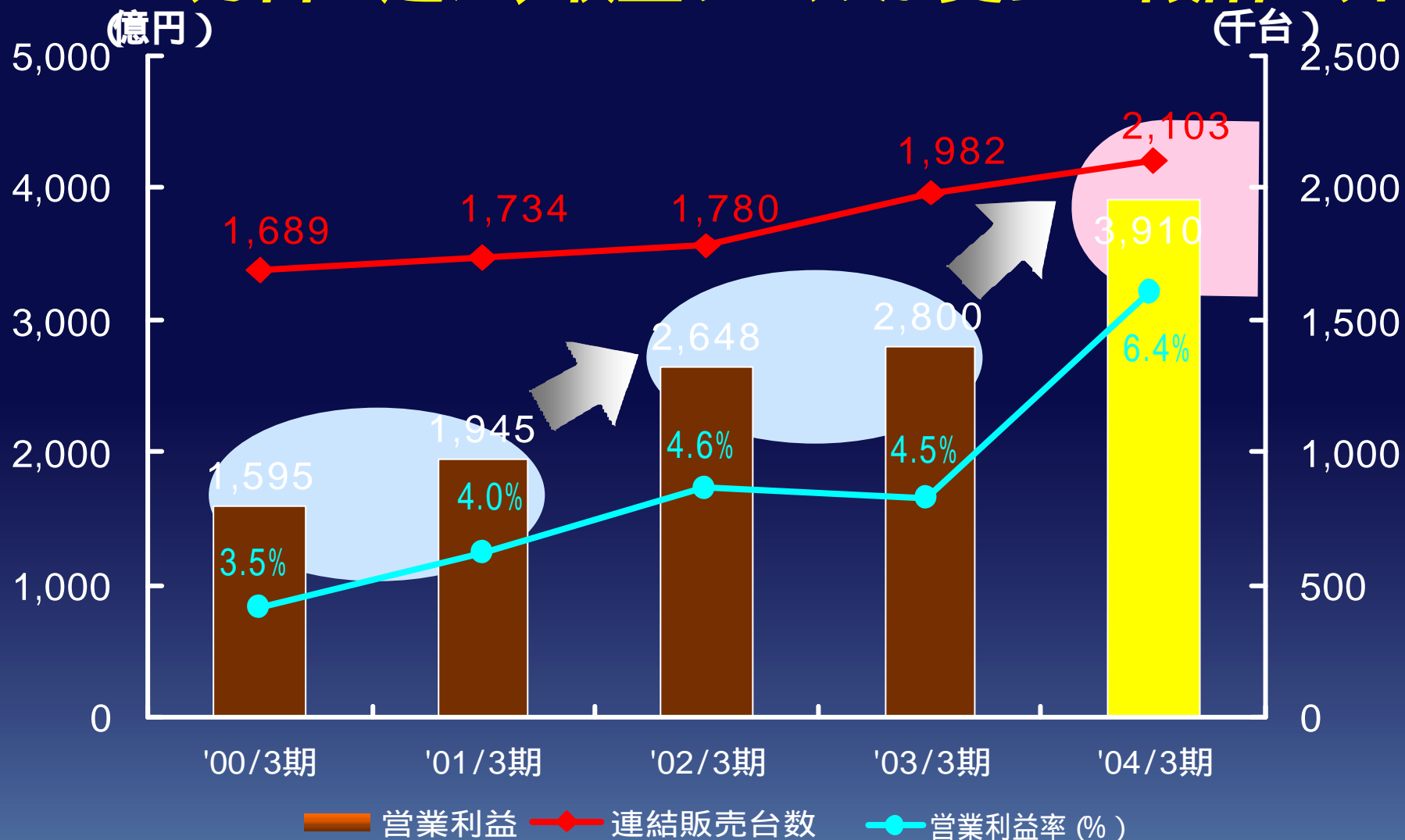
シエナ



RX330

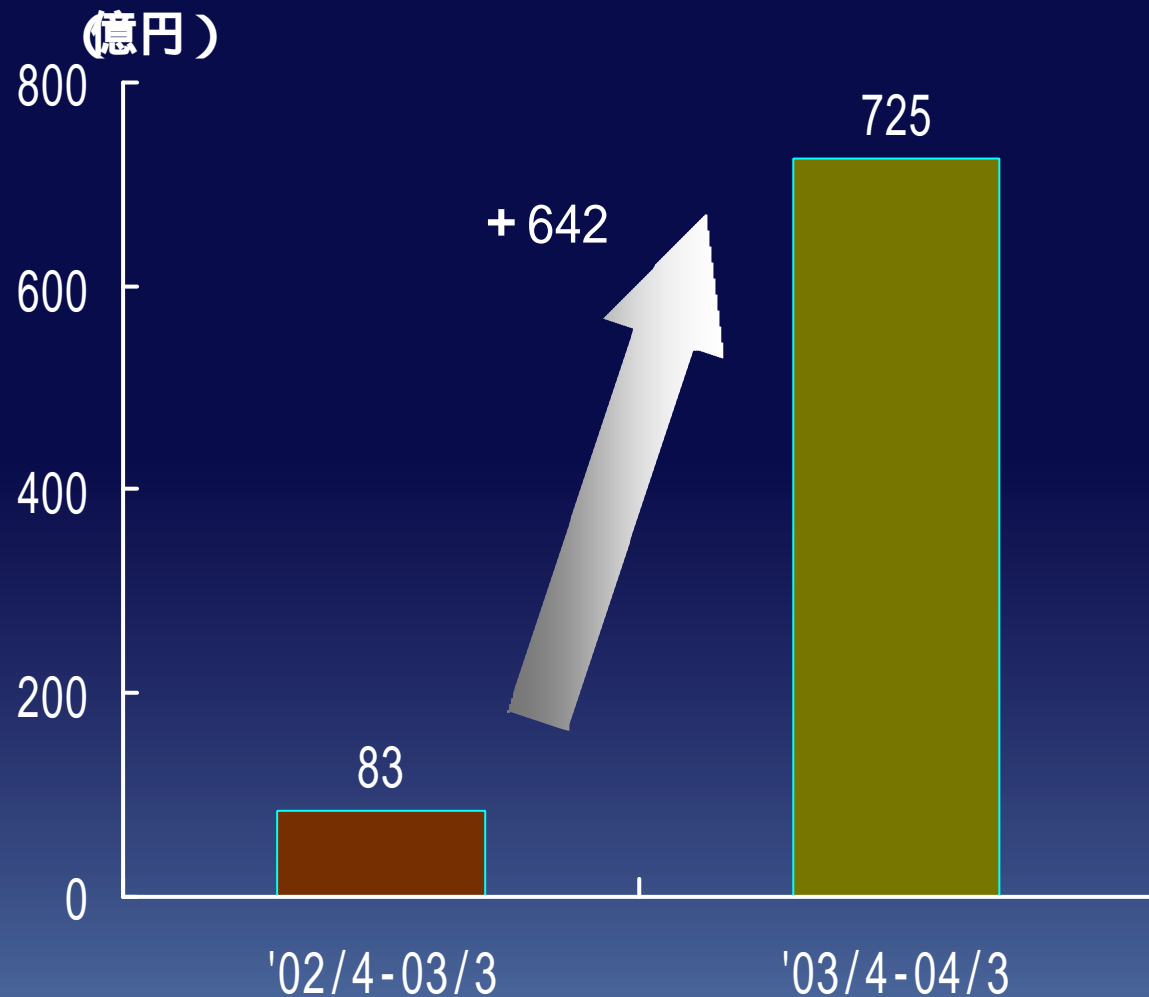
所在地別営業利益推移 北米

200万台を超え、収益レベルが更に一段階上昇



所在地別営業利益 欧州

現地生産車の拡販により収益大幅拡大



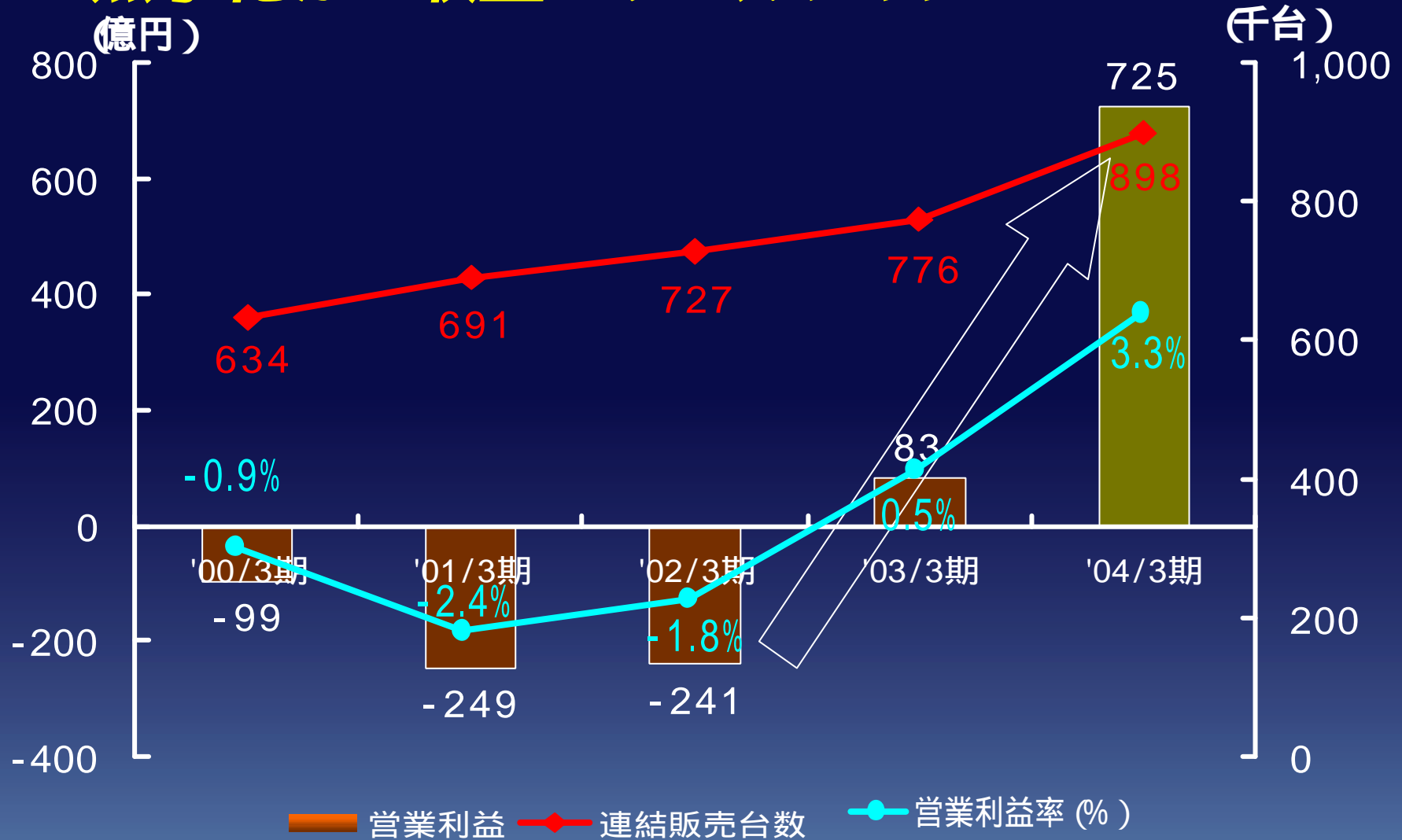
アベンシス



ヤリス

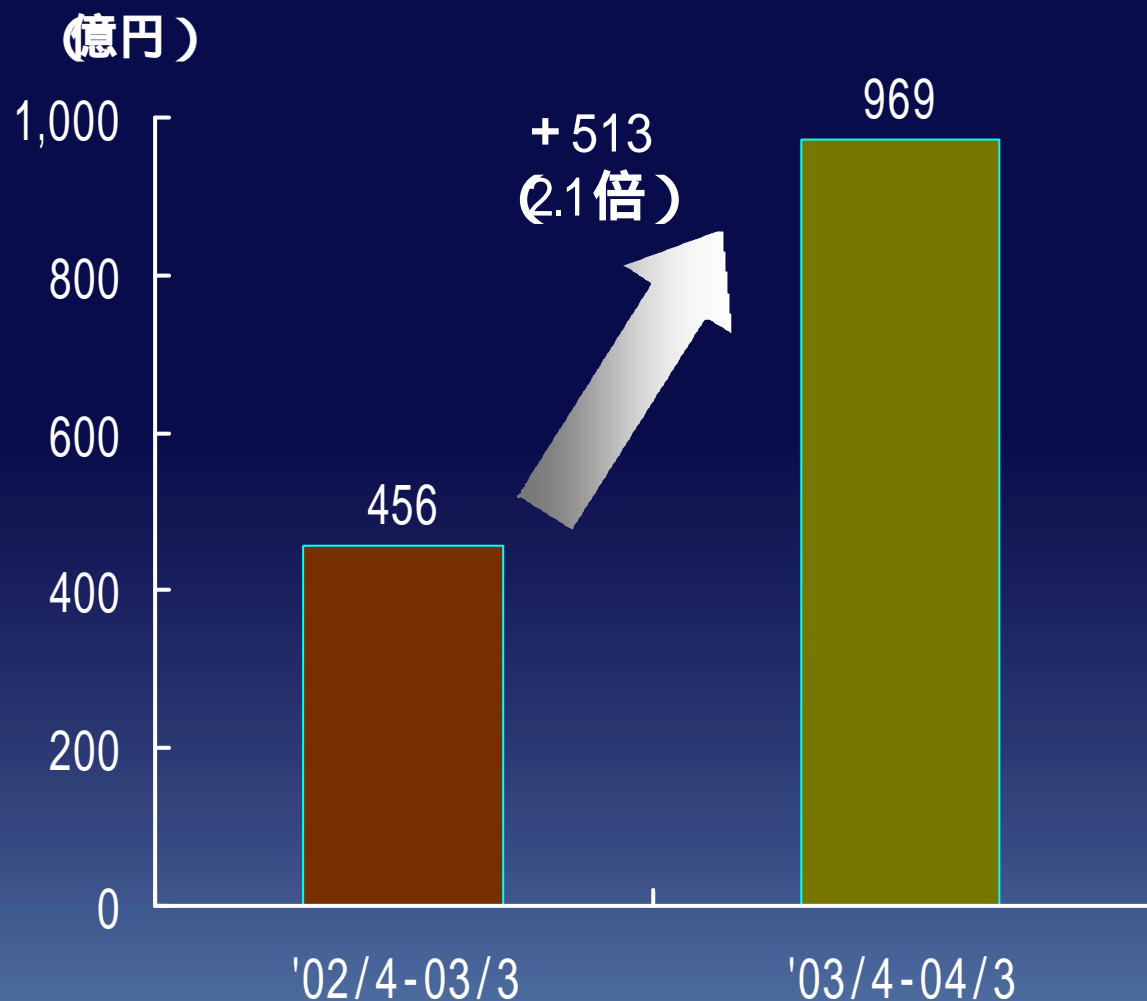
所在地別営業利益推移 欧州

黒字化から収益のレベルアップへ



所在地別営業利益 :その他

アジアをはじめ、拡販により収益倍増



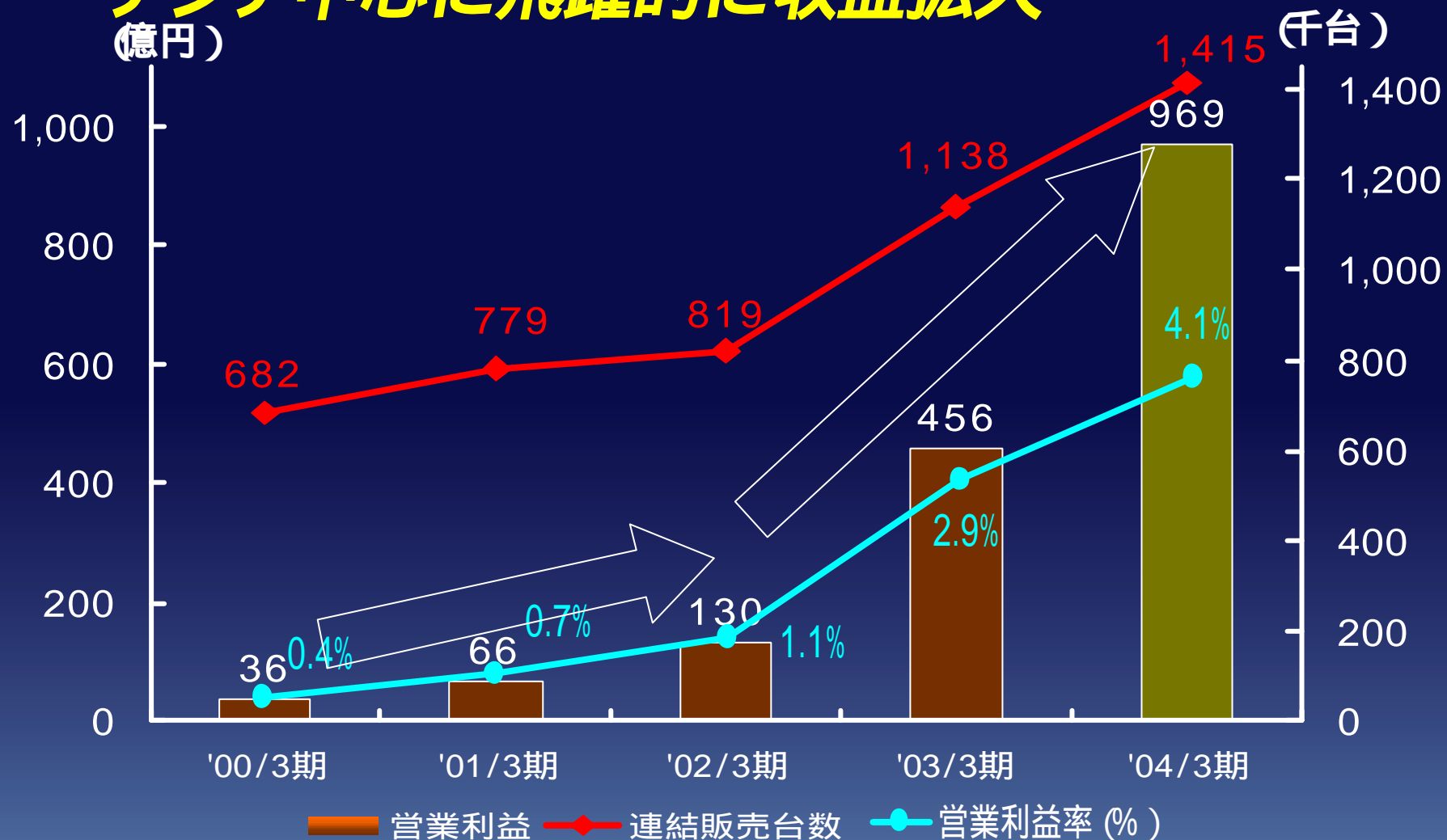
ヴィオス



ハイラックス

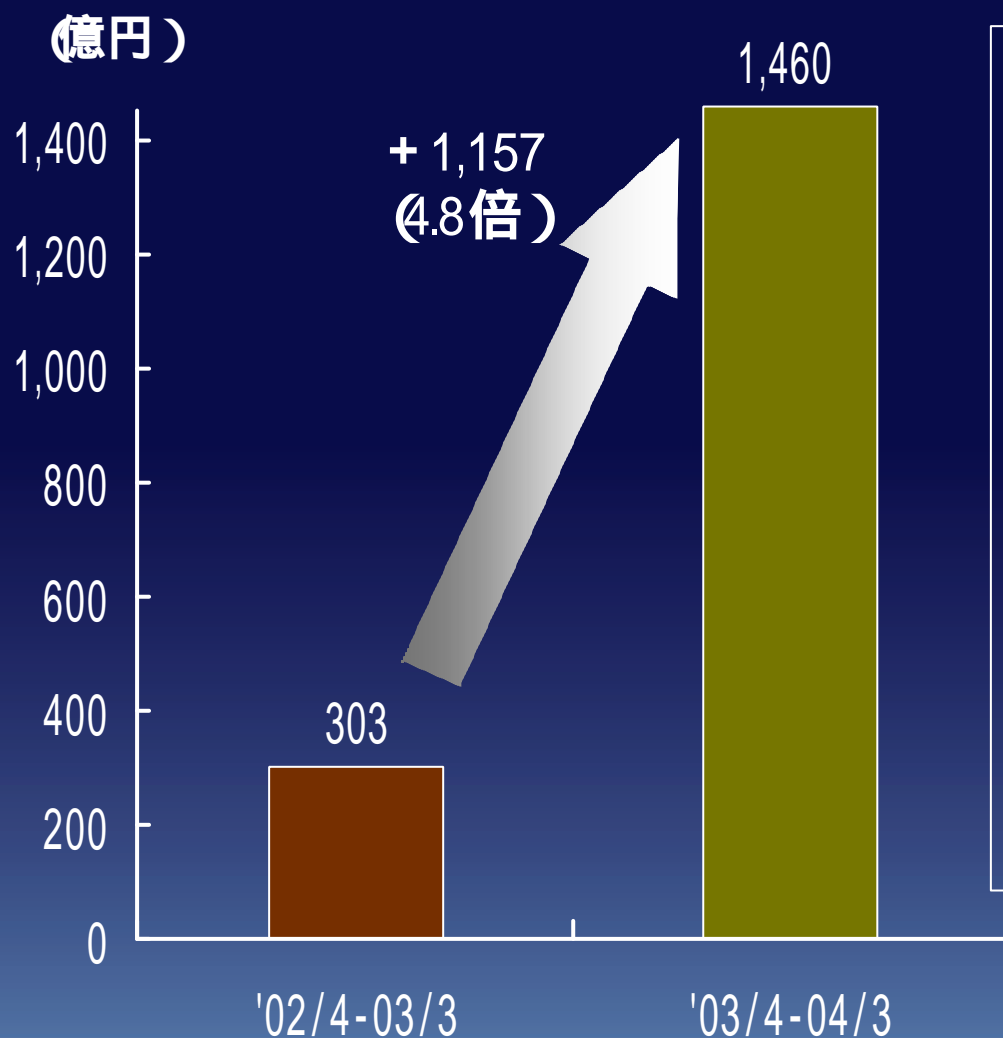
所在地別営業利益推移 : その他

アジア中心に飛躍的に収益拡大



事業別セグメント金融

営業利益1,000億円の目標を前倒して達成



融資残高の増加ほか

+562 億円

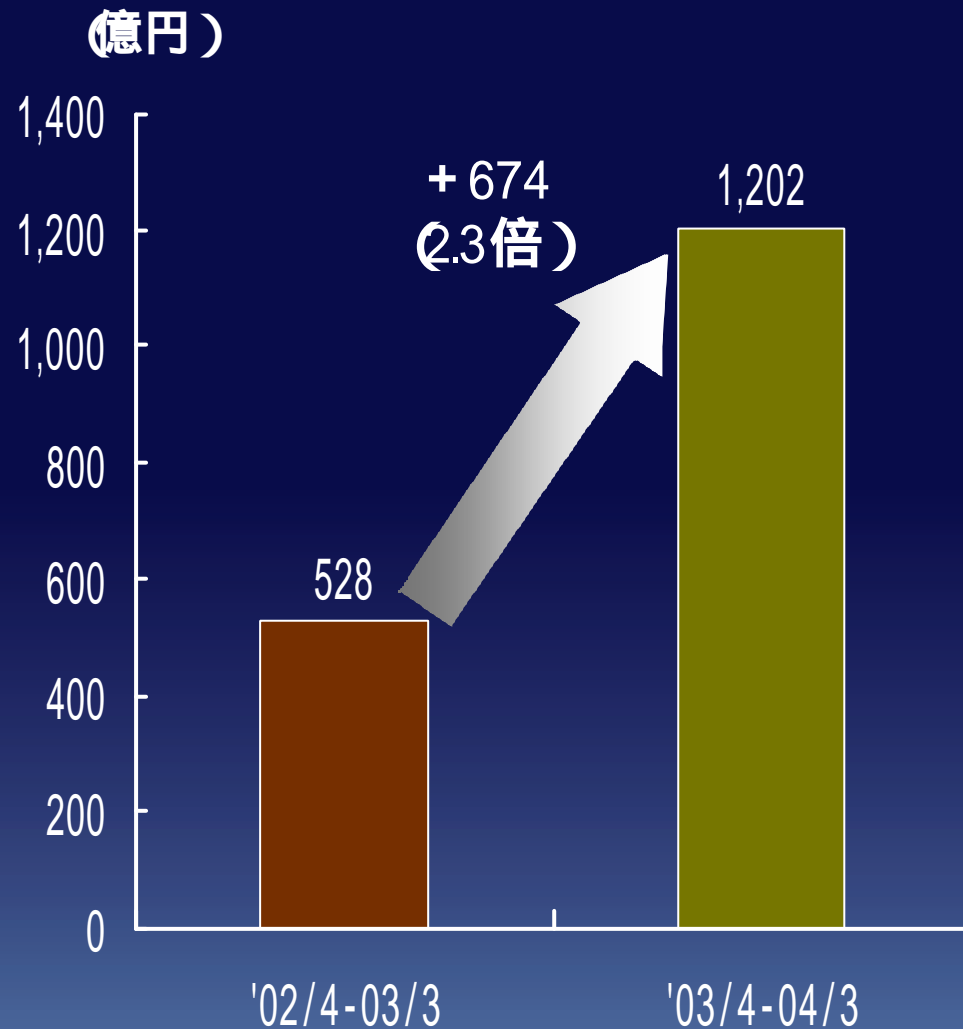
米国の販売金融子会社の
金利スワップ取引などの評価損益
の影響

04/3 193億円

03/3 402億円)

+595億円

持分法投資損益 : 国内外ともに大幅増加



増減要因 < +674億円 >

うち代行返上益分 : 206億円

設備投資・減価償却費・研究開発費：

	設備投資 (億円)	減価償却費 (億円)	研究開発費 (億円)
連 結 計	9,577	7,881	6,822
国 内	5,649	4,868	
北 米	2,099	1,765	
欧 州	877	664	
その他	952	584	

Agenda

.連結決算の概況

.**単独決算の概況**

.次期の見通し

单独決算要約

< 日本基準 >

	当期 (03/4-04/3)	前期 (02/4-03/3)	増減	
	億円	億円	億円	%
売上高	89,637	87,393	2,244	2.6
営業利益	8,337	8,613	276	3.2
経常利益	9,157	8,926	231	2.6
当期純利益	5,814	6,340	526	8.3

配当 : 45円/株 <9円増配>

年間配当

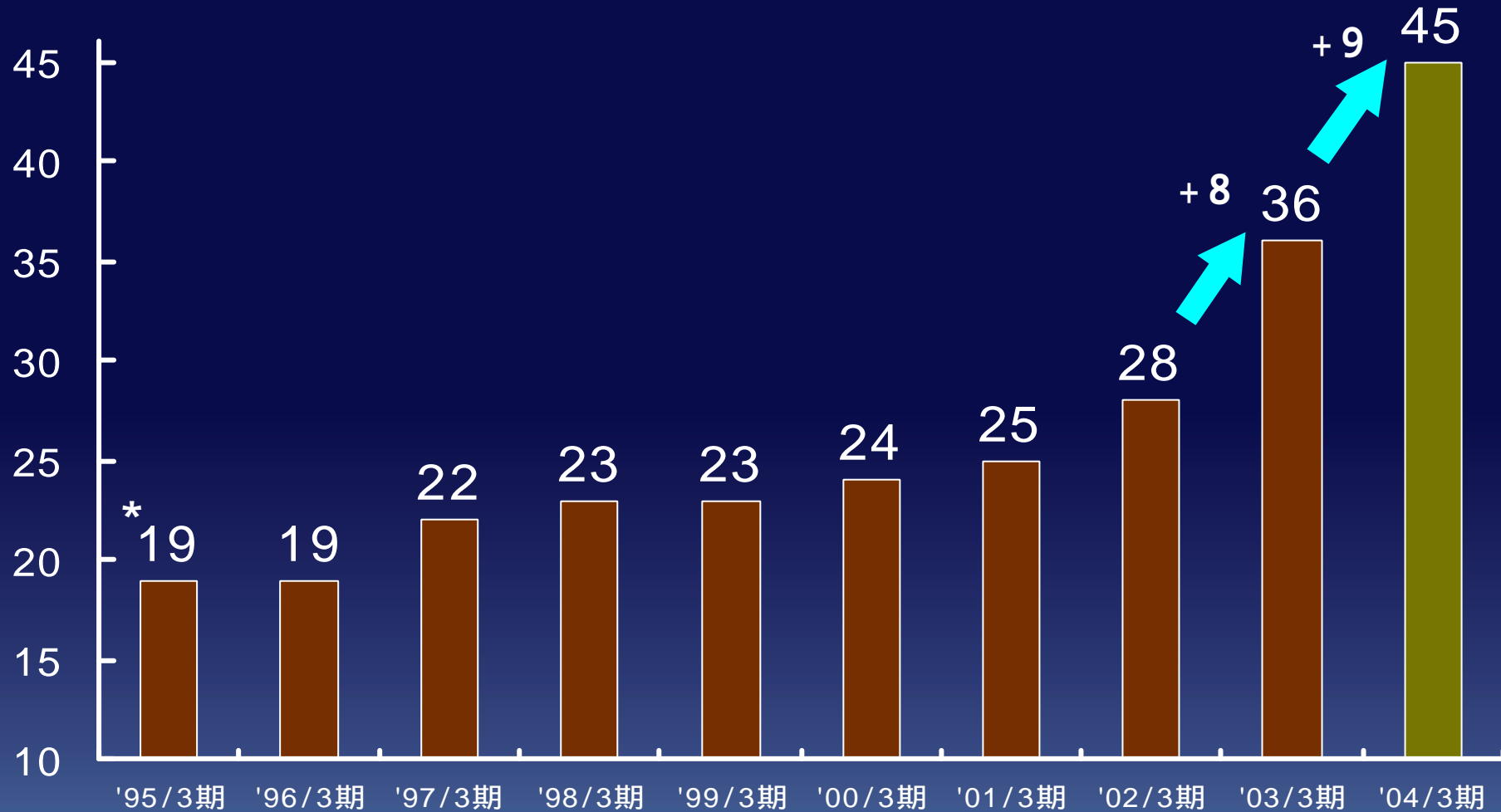
 **1株につき 45円 <中間 20円 期末 25円>**

(9円増配)

配当性向 (単独) 26.0% <前期 19.8%>

配当実績 : 大幅な増配を実現

(円/1株当たり)



* 12ヶ月換算 (1995年3月期は決算期変更により9ヶ月決算 配当金実績14.5円)

自己株式取得 <実績> :

取得枠の約8割 (金額ベース)まで実施済み

自己株式取得授權枠

株数 : 150百万株 金額 : 4,000 億円

(昨年度株主総会 ~ 本年度総会)

取得実績

株数 : 93百万株 金額 : 3,114 億円

自己株式取得 < 来期 > :

2,500億円の取得枠設定予定

自己株式取得授権枠

株数 : 65百万株

金額 : 2,500億円

(本年度株主総会 ~ 次年度総会)

Agenda

.連結決算の概況

.単独決算の概況

.次期の見通し

次期見通し 連結販売台数



次期見通し 設備投資他

	設備投資 (億円)	減価償却費 (億円)	研究開発費 (億円)
連 結	(+ 323) 9,900	(+ 119) 8,000	(22) 6,800
(日 本)	(+ 251) 5,900	(68) 4,800	
(北 米)	(699) 1,400	(165) 1,600	
(欧 州)	(77) 800	(+ 136) 800	
(その他)	(+ 848) 1,800	(+ 216) 800	

台数等の見通し

		次期見通し (04/4-05/3)	当期実績 (03/4-04/3)
生産	国内	3,610 千台	3,558 千台
	海外	3,050	2,739
国内販売		1,790	1,765
輸出		1,880	1,860
海外現地販売		4,800	4,541
住宅		4,100 戸	4,038 戸

単独業績見通し

< 日本基準 >

	次期見通し (04/4-05/3)	当期実績 (03/4-04/3)	増減
	億円	億円	億円
売上高	90,000	89,637	363
営業利益	7,000	8,337	1,337
経常利益	8,300	9,157	857
当期純利益	5,200	5,814	614
為替レート	105 円/ドル 125 円/ユーロ	113 円/ドル 133 円/ユーロ	8 円の円高 8 円の円高

2004年3月期 決算説明会



トヨタ自動車株式会社

TOYOTA

2004年5月11日